

## 医療面接の基礎

|              |                                |        |          |
|--------------|--------------------------------|--------|----------|
| 責任者・コーディネーター | 人間科学科心理学・行動科学分野 相澤 文恵 准教授      |        |          |
| 担当講座・学科(分野)  | 人間科学科心理学・行動科学分野                |        |          |
| 担当教員         | 相澤 文恵 准教授、藤澤 美穂 助教、高橋 智幸 非常勤講師 |        |          |
| 対象学年         | 1                              | 区分・時間数 | 講義 21 時間 |
| 期間           | 後期                             |        |          |

### ・学習方針（講義概要等）

医療の担い手の一員として、患者、同僚、他職種専門職や地域社会との信頼関係を確立するためには、相手のこころや立場、価値観等の理解と尊重が必要となる。本講義では、医療面接に必要な態度と基本的技法を修得するために、コミュニケーションの基礎、行動科学理論を用いたヘルスコミュニケーション、患者の特性に応じた医療面接等について学ぶ。さらに、基本的な理論を学んだ後、学生同士によるロールプレイを行い、理論の理解を深めることによって医療面接を効果的に行う基礎を身につける。

### ・教育成果（アウトカム）

1. コミュニケーションと医療面接の基礎を学修することで、対人理解・対人援助に関する基本的な知識と態度を習得し、相手の立場に立った援助ができるようになる。  
2. 他者との信頼関係や他者配慮の態度について学修することで、チーム医療に寄与できるコミュニケーション能力を身に付け、実践することが出来る。  
3. ストレスマネジメント概念を理解することで、自身のメンタルヘルスの保持増進のため必要な行動をとることが出来る。  
(ディプロマ・ポリシー：1,2,4)

### ・到達目標（SBO）

1. 医療面接に用いられる基本的技術について説明できる。  
2. カウンセラーに必要な態度について説明できる。  
3. ヘルスコミュニケーションについて説明できる。  
4. 行動科学理論をヘルスコミュニケーションへ応用する方法について説明できる。  
5. ストレスマネジメントとセルフケアの重要性について理解し、説明できる。  
6. 臨床心理アセスメントについて説明できる。  
7. 心理療法の主な技法について、その特徴を説明できる。

【講義】

| 月日   | 曜日 | 時限 | 講座(学科)              | 担当教員                  | 講義内容/到達目標   |
|------|----|----|---------------------|-----------------------|---|
| 9/5  | 火  | 3  | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 相澤 文恵 准教授             | コミュニケーションの基礎<br>1.コミュニケーションの種類を列挙できる。<br>2.メッセージとメタメッセージについて説明できる。<br>3.コンテンツとコンテキストについて説明できる。<br>4.ミスコミュニケーションについて説明できる。<br>5.コミュニケーションの機能と役割について説明できる。                          |
| 9/12 | 火  | 3  | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 藤澤 美穂 助教              | カウンセリングの基礎<br>1.広義/狭義のカウンセリングについて説明できる。<br>2.カウンセリングにおいては、なぜ「クライアント」と称するのかについて、説明できる。<br>3.カウンセリングが成立する条件について説明できる。<br>4.カウンセリングにおける倫理について説明できる<br>5.カウンセラーの基本的態度とラポールについて、説明できる。 |
| 9/19 | 火  | 3  | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 相澤 文恵 准教授<br>藤澤 美穂 助教 | <演習><br>受容・共感(1)<br>1.傾聴する態度がなぜ必要かを述べることができる。<br>2.自分の話し方と聞き方のくせについて検討できる。<br>3.ロールプレイにおいて対話している相手の感情の動きを推測できる。<br>4.推測した感情を自然な言葉で相手に返すことができる。                                    |
| 9/26 | 火  | 3  | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 相澤 文恵 准教授<br>藤澤 美穂 助教 | <演習><br>受容・共感(2)<br>1.共感の段階について説明できる。<br>2.クライアントの性格的な傾向を   |

|       |   |   |                     |                       |  |
|-------|---|---|---------------------|-----------------------|--|
|       |   |   |                     |                       | 推測できる。<br>3.ロールプレイにおいてクライアントに共感できる。  |
| 10/17 | 火 | 3 | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 相澤 文恵 准教授             | ヘルスコミュニケーションの理論を理解する<br>1.カウンセリングに適したポジショニングを説明できる。<br>2.ヘルスコミュニケーションの定義を説明できる。<br>3.ヘルスコミュニケーションの方法について説明できる。   |
| 10/24 | 火 | 3 | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 相澤 文恵 准教授<br>藤澤 美穂 助教 | <演習><br>ヘルスコミュニケーションへの行動科学理論の応用<br>1.事例を行動科学理論にあてはめて検討し、介入すべき変数を抽出できる。<br>2.抽出した変数について、介入計画を立てることができる。<br>3.介入計画に基づいてヘルスコミュニケーションのロールプレイができる。                |
| 10/31 | 火 | 3 | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 藤澤 美穂 助教              | 個人と環境の相互作用を理解する<br>1.生物-心理-社会モデルでのクライアントの理解について、説明できる。<br>2.クライアントの主訴に関連する情報として、何を聞く必要があるか、説明できる。<br>3.ジェノグラムを記載できる。<br>4.関与しながらの観察について、その重要性と必要性を説明できる。     |
| 11/7  | 火 | 3 | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 藤澤 美穂 助教              | 臨床心理アセスメント<br>1.医学的診断と臨床心理アセスメントの違いを説明できる。<br>2.アセスメント面接で確認すべき事項を挙げることができる。<br>3.面接法、観察法、検査法についてその概要を説明できる。<br>4.心理検査を用いたアセスメントのうち、ウェクスラー式知能検査の特徴を述べることができる。 |
| 11/13 | 月 | 2 | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 藤澤 美穂 助教              | 臨床心理面接(1)<br>精神分析、表現療法   |

|       |   |   |                     |                         |   |
|-------|---|---|---------------------|-------------------------|---|
|       |   |   |                     |                         | <p>1.心理面接における治療契約について、説明できる。</p> <p>2.精神分析の歴史と治療構造について、説明できる。</p> <p>3.国内で多く実践されている表現療法技法を述べることができる。</p>  |
| 11/20 | 月 | 2 | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 藤澤 美穂 助教                | <p>臨床心理面接(2)</p> <p>集団精神療法、認知行動療法</p> <p>1.集団精神療法について、Yalomの治療促進因子を述べるができる。</p> <p>2.認知行動療法の基本モデルを説明できる。</p> <p>3.ネガティブな自動思考とその影響について、説明できる。</p>  |
| 11/27 | 月 | 2 | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 藤澤 美穂 助教<br>高橋 智幸 非常勤講師 | <p>臨床心理面接(3)</p> <p>地域における家族支援</p> <p>1.クライアントとその家族の相互作用について理解し、家族への関わり的重要性や必要性を説明できる。</p> <p>2.地域における家族支援のための諸アプローチを理解し、クライアントや家族全体へと及ぼす効果について述べるができる。</p>   |
| 12/4  | 月 | 2 | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 藤澤 美穂 助教                | <p>&lt;演習&gt;</p> <p>クライアントからの質問への応用</p> <p>1.提示されたケースに基づき、アセスメントのポイントを挙げるができる。</p> <p>2.クライアントを詳しく理解するために必要な情報を挙げるができる。またその情報を引き出すための質問を挙げることができる。</p> <p>3.クライアントからの質問に対し、その意図や背景を考慮した応答をすることができる。</p> <p>4.明確化の技法を用いた応答ができる。</p> |
| 12/11 | 月 | 2 | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 藤澤 美穂 助教                | <p>トラウマティックストレスの理解とストレスマネジメント</p> <p>1.災害等のトラウマティックな出来事後のストレス反応について、説明できる。</p> <p>2.心理教育の効果と重要性について</p>   |

|       |   |   |                     |           |  |
|-------|---|---|---------------------|-----------|--|
|       |   |   |                     |           | <p>て、説明できる。</p> <p>3.惨事ストレスを理解し、支援者のストレスケアのポイントを挙げることができる。</p> <p>4.ストレスマネジメントの重要性を説明できる。</p> <p>5.心理的ストレスプロセスモデルを説明できる。</p>   |
| 12/18 | 月 | 2 | 人間科学科<br>心理学・行動科学分野 | 相澤 文恵 准教授 | <p>態度分析</p> <p>1.解釈モデルについて説明できる。</p> <p>2.LEARN Model について説明できる。</p> <p>3.Porter の態度類型について説明できる。</p> <p>4.医療面接における態度分析のポイントについて説明できる。</p> <p>医療面接のまとめ</p> <p>1.医療面接の役割について説明できる。</p> <p>2.医療面接のステップを説明できる。</p> |

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

|   | 書籍名                                  | 著者名      | 発行所       | 発行年  |
|---|--------------------------------------|----------|-----------|------|
| 教 | はじめての医療面接 コミュニケーション技法とその学び方          | 齋藤清二     | 医学書院      | 2013 |
| 参 | 医療・保健・福祉・心理専門職のためのアセスメント技術を高めるハンドブック | 近藤直司     | 明石書店      | 2012 |
| 参 | カウンセリング概説・改訂版                        | 馬場謙一・橘玲子 | 放送大学教育振興会 | 2005 |

・成績評価方法

定期試験の成績を 70%、演習への取り組みと提出物を 30%として評価する。

・特記事項・その他

本教科では、一般的な講義に加えて演習を行う。講義内で実施する演習課題は内容を評価して返却し、次回の講義内で解説する。シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学習（予習・復習）をおこなうこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称                                | 台数 | 使用目的         |
|------|---|----|--------------|
| 講義   | ノート型 PC (MacBook Air MD711J/A)          | 1  | 講義資料の提示      |
| 講義   | プロジェクター                                 | 1  | 講義資料・教材の提示 講 |
| 講義   | DVD(BR)プレーヤー                            | 1  | 教材の提示 講      |
| 講義   | 書画カメラ 1                                 | 1  | 教材の提示        |
| 講義   | デスクトップ PC (iMac21.5 ZOMP CTO Education) | 1  | 講義資料の作成      |